

ここにテキストを入力

ここにテキストを入力

第1章～第7章 ここにテキストを入力

ここにテキストを入力

第1章 ここにテキストを入力

第2章 ここにテキストを入力

第3章 ここにテキストを入力

第4章 ここにテキストを入力

第5章 ここにテキストを入力

第6章 ここにテキストを入力

第7章 ここにテキストを入力

ここにテキストを入力

CHAPTER
1

第1章

銀石公と断れない提案

00:07.000 --> 00:14.000

よく眠れましたか？ 銀石公。今日もよい朝でございますわ。

00:14.000 --> 00:22.000

爽やかな一日のために、わたくしが特別に選曲した音楽をお聴きなさいませ。

00:22.000 --> 00:29.000

いかがですか？ エルチューブで、わたくしが心血を注いで選び抜いたのですわ。

00:29.000 --> 00:34.000

聴いているだけで、優雅～な淑女になった気分になりませんか？

00:34.000 --> 00:41.000

わたくしがこのプレイリストを選ぶのに、どれほどの努力を注いだことか……。

00:41.000 --> 00:47.000

エルフたちの音楽は本当に多種多様で、役に立たないものも多かったですわ。

00:47.000 --> 00:53.000

その中でも、銀石公にふさわしい音楽を選び抜いたのでございますわ。

00:53.000 --> 00:59.000

銀石公～。この音楽がお気に召したなら、何もおっしゃらないくださいませ。

00:59.000 --> 01:02.000

しーっ。

01:02.000 --> 01:08.000

おほほっ！ お気に召したようで何よりですわ。

01:08.000 --> 01:13.000

銀石公、今なんとおっしゃいました？

01:13.000 --> 01:18.000

え？ お散歩に行きたいとおっしゃったのですか？

01:18.000 --> 01:23.000

今日は少し難しそうですわ。

01:23.000 --> 01:29.000

最近、あれこれと妖精たちがわたくしに不満を抱いているのですわ。

01:29.000 --> 01:34.000

散歩に出れば、後ろ指をさして陰口を叩かれるのが常ですもの。

01:34.000 --> 01:40.000

以前のように、直接部屋まで侵入して嫌がらせをすることはなくなりましたけれど。

01:40.000 --> 01:47.000

たぶん、この部屋に監視カメラも付けて、侵入警報機まで設置したからでしょうね。

01:47.000 --> 01:50.000

どうしてもお散歩に行きたいのですか？

01:50.000 --> 01:54.000

そんなふうに駄々をこねても駄目ですわ。

01:54.000 --> 01:57.000

もうお忘れになったのですか？

01:57.000 --> 02:03.000

数日前にも、裏路地に入ったら悪い妖精たちが後をつけてきたではありませんか。

02:03.000 --> 02:11.000

あの時、仮面をつけた何者かが助けてくれなかったら、本当に大変なことになるところでしたわ。

02:11.000 --> 02:17.000

その方にお礼を申し上げようとしたのに、何も言わずに消えてしまいましたけれど。

02:17.000 --> 02:21.000

誰なのか、わたくしにもよく分かりませんわ。

02:21.000 --> 02:27.000

わたくしをこっそり助けてくれる、正義のヒーローだったのではないかと思うのですが……。

02:27.000 --> 02:32.000

名前を尋ねても、答えてはくださらなかったのですわ。

02:32.000 --> 02:37.000

ふむ、もしかすると自警団かもしれませんね。

02:37.000 --> 02:44.000

とにかく！ 妖精たちは善良そうに見えても、生まれつき怠け者で、凶暴なのですわ。

02:44.000 --> 02:50.000

甘く見えても、決して侮ってはいけません。

02:50.000 --> 02:55.000

おい、ヴィヴィだか何だかはここにいるんだろ？

02:55.000 --> 03:02.000

え？ わたくしがヴィヴィでございますわ。どなたが、わたくしを訪ねていらしたのですか？

03:02.000 --> 03:12.000

ちょっと話したいことがある。ドアを開けて。

03:12.000 --> 03:15.000

どなた……？

03:15.000 --> 03:20.000

私を知らないの？ フロストノヴァの会長、アイシアよ。

03:20.000 --> 03:26.000

まあ、だいたいは存じております。わたくしも一時期はモナティアムで暮らしていましたから。

03:26.000 --> 03:30.000

そう？ なら話が早いわね。

03:30.000 --> 03:35.000

……どういったご用件で、わたくしを訪ねていらしたのですか？

03:35.000 --> 03:41.000

おっ！ 見つけた！ これが例の銀色の卵ね！

03:41.000 --> 03:45.000

聞き回って来てみたけど、本当だったじゃない？

03:45.000 --> 03:50.000

なぜあなたのようなエルフが銀石公を探しているのですか？

03:50.000 --> 03:58.000

いえ、その前に、銀石公がここにいるとどうして分かったのです？

03:58.000 --> 04:04.000

お下がりなさいませ！ それ以上勝手に近づくなら、黙ってはいませんわ。

04:04.000 --> 04:08.000

何？ 今、私を脅してるの？

04:08.000 --> 04:12.000

私が誰か分かって、そういう態度に出るわけ？

04:12.000 --> 04:16.000

必要とあらば、できないこともありませんわ。

04:16.000 --> 04:22.000

まあ、いいわ。私がここに来たのは、あんたに提案したいことがあるからよ。

04:22.000 --> 04:25.000

提案、とおっしゃいました？

04:25.000 --> 04:31.000

ふう……そう、あんたに断れない提案をしてあげる。

04:31.000 --> 04:38.000

いったいどんな提案なら、断れないと言えるのです？

04:38.000 --> 04:44.000

単刀直入に言うわ。このお金で、その卵を買う。

04:44.000 --> 04:49.000

どう〜？ あんたたち庶民じゃ、一生触れることもできない金額でしょ？

04:49.000 --> 04:55.000

ケチらずに入れておいたから、湯水のように使っても足りなくはないはずよ？

04:55.000 --> 05:01.000

銀石公を……お金で買うというのですか？！

05:01.000 --> 05:06.000

そうよ。これでも受け取って、どこかへ消えなさいってこと！ おほほっ！

05:06.000 --> 05:09.000

馬鹿なことを！！

05:09.000 --> 05:13.000

そもそも、竜族の卵を何だと思っていらっしゃるのですか？！

05:13.000 --> 05:17.000

何よ？ この金額で済むわけ？

05:17.000 --> 05:23.000

はあ〜？ 竜族だから頭が悪くは思ってたけど……交渉くらいできるのね？

05:23.000 --> 05:31.000

いいわ、こうなると思ってもう一つ用意しておいたの。このくらいなら文句ないでしょ。

05:31.000 --> 05:37.000

どう？この金額なら、少しは心が動いた？

05:37.000 --> 05:42.000

くだらないことをおっしゃらないで！わたくしにとって、お金が大事なのではありませんわ。

05:42.000 --> 05:47.000

え？お金が大事じゃないって？

05:47.000 --> 05:53.000

ええ！たかが紙切れ同然のお金で銀石公を渡せだなんて！あり得ませんわ！

05:53.000 --> 05:58.000

そう？お金よりエリーフのほうがいいの？

05:58.000 --> 06:02.000

エリーフを詰めたバッグで用意し直そうか？

06:02.000 --> 06:09.000

いいえ！どれほどのエリーフを差し出されようと、わたくしが銀石公を渡すことはありませんわ！

06:09.000 --> 06:12.000

いや、なんでよ??

06:12.000 --> 06:14.000

あんた、まさか……！！

06:14.000 --> 06:18.000

その卵、自分で産んだの？！

06:18.000 --> 06:22.000

え……？ そ、そんなはずがあるわけないでしょう？！

06:22.000 --> 06:25.000

まあ、そりゃそうよね。

06:25.000 --> 06:29.000

いや、でもなんで売らないの？ あんたのものでもないでしょ！

06:29.000 --> 06:37.000

この卵からは、竜族社会でみんなに可愛がられる竜族が生まれる予定なのですよ！

06:37.000 --> 06:43.000

竜族の長、ダイヤモンドが直接わたくしに託したのです！

06:43.000 --> 06:47.000

ですから、おとなしくお帰りくださいませ！

06:47.000 --> 06:52.000

そもそも、あなたのようなエルフがなぜ銀石公を欲しがるのですか？

06:52.000 --> 06:57.000

そ、それは……知らなくていいの！

06:57.000 --> 07:01.000

この金額で渡して、失くしたって言えばいいじゃない！

07:01.000 --> 07:05.000

今、わたくしの話を聞いていらしたのですか？

07:05.000 --> 07:10.000

わたくしは絶対に銀石公を渡すつもりはありません！！

07:10.000 --> 07:14.000

はあ、そういう態度に出るわけね……。

07:14.000 --> 07:17.000

後悔するわよ？

07:17.000 --> 07:23.000

ふん、そんなくだらない脅しが、わたくしに通じるとお思いですか？

07:23.000 --> 07:26.000

……

07:26.000 --> 07:31.000

ドンッ！

07:31.000 --> 07:37.000

まったく～、呆れてしまいますわ。

07:37.000 --> 07:40.000

あまり心配なさないでくださいませ、銀石公。

07:40.000 --> 07:45.000

わたくしが銀石公をお守りいたしますわ。

07:45.000 --> 07:51.000

何があろうとも、必ず！わたくしの名誉にかけてでも。

CHAPTER
2

第2章

銀石公の預け先と怪しい契約

00:06.800 --> 00:10.500

まったく、エルフたちは面の皮が厚いですわ。

00:10.500 --> 00:15.500

竜族の卵をお金で買おうだなんて、通る話ですか？

00:15.500 --> 00:21.000

銀石公は、お金よりもっと本質的なものを追い求めるようになさいます。

00:21.000 --> 00:26.500

うーん、お金より大切なものとは何でしょう？

00:26.500 --> 00:32.000

たとえば、健康、信頼、愛……。

00:32.000 --> 00:34.500

……

00:34.500 --> 00:39.500

わたくしが言っても説得力はないでしょうけれど、心に刻んでおきなさいませ。

00:39.500 --> 00:45.000

横歩きのカニだって、友達には前に歩けと言うものですから。

00:45.000 --> 00:50.000

それにしても……最近、銀石公を脅かす出来事が増えてきたわ。

00:50.000 --> 00:56.500

妖精たちの嫌がらせもあったし……エルフが銀石公を買うと言い出したりもしたし……。

00:56.500 --> 01:02.000

もう、わたくしが奉仕活動をしている間、銀石公をひとり部屋に置いておくわけにはいかないわね……。

01:02.000 --> 01:09.500

誰かにしばらく預かってもらえないかしら……。

01:09.500 --> 01:15.500

つまり……ヴィヴィさんが奉仕活動をしている間、卵を預かってほしいということですか？

01:15.500 --> 01:20.000

……そうでございますわ。銀石公をお願いいたします。

01:20.000 --> 01:23.000

銀石……公、ですか？

01:23.000 --> 01:29.000

いつまでも卵と呼ぶのも何ですから……愛称で呼んでいるのですわ。

01:29.000 --> 01:32.000

うーん、そうなんですわ。

01:32.000 --> 01:39.000

その……厚かましいお願いだということは、わたくしもよく分かっておりますわ……。

01:39.000 --> 01:46.000

卵を預かることになったのも、奉仕活動することになったのも、すべてわたくしの自業自得です。

01:46.000 --> 01:55.000

ですが最近、妖精たちがわたくしの部屋にこっそり侵入したこともありましてし、他にも銀石公を狙う者がいたのですわ。

01:55.000 --> 01:58.500

お願いいたします、司祭長様。

01:58.500 --> 02:04.500

わたくしが奉仕活動をしている間だけでも、銀石公を預かってはいただけませんか？

02:04.500 --> 02:07.500

.....

02:07.500 --> 02:09.500

いいですよ。

02:09.500 --> 02:13.000

え？ 本当によろしいのですか？

02:13.000 --> 02:16.500

もちろんです。駄目な理由なんてありますか？

02:16.500 --> 02:22.000

私が仕事をしながらそばに置いて、しっかり見守っていただければいいんですよね？

02:22.000 --> 02:26.500

そうでございますわ。そうしてくださればよいのです。

02:26.500 --> 02:30.500

どこかへ行く時は、このベビーカーを押していけばいいですし。

02:30.500 --> 02:34.500

このくらいなら、特に難しいことでもなさそうですね。

02:34.500 --> 02:40.500

その……ありがとうございます、司祭長様。

02:40.500 --> 02:43.000

あの、ヴィヴィさん。

02:43.000 --> 02:49.500

ヴィヴィさんが奉仕活動中だということも、女王様がヴィヴィさんを許したことも分かっています。

02:49.500 --> 02:55.000

だからといって、私がヴィヴィさんを完全に許したわけではありません。

02:55.000 --> 02:58.000

……そう、ですね……。

02:58.000 --> 03:03.500

女王様がヴィヴィさんのせいで、どれほど心を痛めていたかは分かっていますよね？

03:03.500 --> 03:07.500

ええ……分かっておりますわ。

03:07.500 --> 03:14.500

分かっているならよかったです。これからも罪を悔い、反省するようにしてください。

03:14.500 --> 03:20.500

その……私も、できる限りあなたを許せるよう努力しますから。

03:20.500 --> 03:29.000

はあ……教主様も、女王様もヴィヴィさんを許しましたけど……私はなかなか難しくて。

03:29.000 --> 03:35.000

ヴィヴィさんを見ると、女王様が悲しんでいた姿を思い出してしまうんです。

03:35.000 --> 03:38.500

それでも、努力はしています。

03:38.500 --> 03:42.500

世界樹様も、きっとそれを望んでいるでしょうから。

03:42.500 --> 03:47.000

世界樹が……そんなことを望むはずがない……。

03:47.000 --> 03:50.500

え？ 今、何とおっしゃいました？

03:50.500 --> 03:58.500

……何も。何でもありませんわ。どうかよろしく願いたします。

03:58.500 --> 04:06.500

おやおや～。会長さんのほうから先にミーティングを申し込んでくるとはね。

04:06.500 --> 04:12.000

お互いに裏切り合ったのに、もう顔を見るのも嫌ってわけじゃないの？

04:12.000 --> 04:16.000

私たち、また終わり方が悪くなりそうだけど～。

04:16.000 --> 04:18.500

私は気にしない。

04:18.500 --> 04:22.000

一度ずつやり合ったんだから、引き分けでしょ。

04:22.000 --> 04:24.500

それでそういうことになるのか？

04:24.500 --> 04:30.000

だから過去のことは水に流して、一緒に未来を企もうってこと。

04:30.000 --> 04:37.000

まあ、いいだろう。二番手企業のCEOらしく、未来を見る目はあるようだな。

04:37.000 --> 04:42.500

二番手企業のCEO？ おい！ 二番でも十分すごいんだけど？

04:42.500 --> 04:49.000

ああ～、誰も駄目だったなんて言ってないだろ？ さっさと本題に入ろう。

04:49.000 --> 04:53.000

それで、この私を呼んだ理由は何だ？

04:53.000 --> 04:57.000

シーザー、あなたにやってほしいことがある。

04:57.000 --> 05:02.000

報酬は、あなたが本当に欲しがっていた物になるはずよ。

05:02.000 --> 05:05.500

私が本当に欲しがっていた物？

05:05.500 --> 05:09.000

今、私の手にあるものが何か分かる？

05:09.000 --> 05:14.000

そう、『メロンメロンハンバーガーセットのレシピ』よ。

05:14.000 --> 05:20.000

これさえあれば、いくらでもメロンメロンハンバーガーを作って食べられる。そういうこと～。

05:20.000 --> 05:26.500

本当か?! 本当にメロンメロンハンバーガーセットのレシピなのか?!

05:26.500 --> 05:32.000

ちょっと待て! お前、前にもそのハンバーガーで私を騙しただろ!

05:32.000 --> 05:40.000

一度見せてみる! 本物か、偽物か確かめてやる!

05:42.000 --> 05:55.000

メロンメロンハンバーガーセット レシピ。用意するもの：メロン果汁を軽くコーティングしたバンズ、メロン果汁に二日間漬けた肉パティ……。

05:55.000 --> 06:00.000

これは本物のメロンメロンハンバーガーのレシピじゃないか?!

06:00.000 --> 06:05.000

……でも、なんで一枚だけなんだ? 残りは?

06:05.000 --> 06:09.000

残りは任務が終わったら渡してあげる。

06:09.000 --> 06:13.500

私の指示した仕事を一つこなすたびに、一枚ずつ渡すわ。

06:13.500 --> 06:18.000

ちっ。そういう手で来るとはな。

06:18.000 --> 06:22.000

それで……どう？ やるの？ やらないの？

06:22.000 --> 06:26.000

どんな仕事か、聞くだけ聞いてやろう。

06:26.000 --> 06:32.000

よし、教えてあげる。教団に潜入して、ある物を一つ盗むの。

06:32.000 --> 06:37.000

物を盗めだと？ 教団から？

06:37.000 --> 06:42.500

そう。教団の客室に、ヴィヴィというやつがいるの。

06:42.500 --> 06:48.500

その竜族が銀色の卵を一つ持ってるのよ。その卵を盗むの！

06:48.500 --> 06:56.000

あまり気が進まないな。私はヴィランであって、こそ泥じゃない。

06:56.000 --> 07:03.000

それに、下手に教団に手を出して、教主と関わることになりそうだしな。

07:03.000 --> 07:08.500

ねえ、あんた馬鹿なの？ 教団がヴィヴィに興味なんてあると思う？

07:08.500 --> 07:13.500

最強のヴィランなのに、教主が怖くて降りるっていうの？

07:13.500 --> 07:18.000

私が頼もしい後ろ盾になってあげるのに、これを諦めるわけ？

07:18.000 --> 07:25.000

降りたいなら降りなさい。その代わりに、あんたは一生レシピを逃して後悔することになるわよ。

07:25.000 --> 07:32.500

うっ、どうする……むやみに教主に手を出したくないし……。

07:32.500 --> 07:37.000

かといって、レシピを諦めたくもない……！！

07:37.000 --> 07:42.000

私と一緒に卵を盗む？ それとも一生後悔して生きる？

07:42.000 --> 07:45.000

三秒あげるわ、シーザー。

07:45.000 --> 07:51.000

三……二……一……。

07:51.000 --> 07:53.000

.....

07:53.000 --> 08:01.000

一秒半、一秒半の半分、一秒半の半分の半分……。

08:01.000 --> 08:06.000

あ、分かった！やる、やるってば！

08:06.000 --> 08:11.000

ひひっ！じゃあ、やるのね？さっさと契約書でも書きましょ！

08:11.000 --> 08:16.000

ちょっと待て、その前にこれを書いてからだ。

08:18.500 --> 08:21.500

え？あんた何してるの？

08:21.500 --> 08:25.500

謎めいた予告状を書いている！

08:25.500 --> 08:32.000

物を盗む前に警告するんだ！怪盗みたいにな！キャハハッ！

08:32.000 --> 08:36.000

いや、そんな無駄なことを何でやるのよ？

08:36.000 --> 08:41.000

これが私の流儀だからだ！ちょうど書き終わったぞ！

08:41.000 --> 08:46.000

ちょっと見せてみなさい！ いったい何て書いたのよ……。

08:46.000 --> 08:59.000

夜が最も明るい日。
銀の光が眠る揺りかごを訪れよう。
希望を奪われし場所には、絶望だけが染み込むだろう。

08:59.000 --> 09:03.500

どうだ？ 誰が見ても名文だろう？

09:03.500 --> 09:07.500

……それをどこに送るつもりなの……？

09:07.500 --> 09:14.500

もちろん教団だ！ 司祭長宛てに送る！

09:14.500 --> 09:18.000

……

09:18.000 --> 09:23.500

もう放っておこう。見るからに、どうせ誰にも理解できなさそうだし。

09:23.500 --> 09:30.000

いや、その前にスパム扱いされるにはびったりね。

CHAPTER
3

第3章

警備隊の朝点呼

00:07.000 --> 00:10.000

朝の点呼を実施する。部隊、気をつけ！

00:10.000 --> 00:16.000

部隊へ、気をつけ！ 隊長に向かって敬礼！

00:16.000 --> 00:18.000

ビシッ！

00:19.000 --> 00:23.000

よし、まずはチェックリストを確認する。

00:23.000 --> 00:26.000

城門の開閉状態確認。異常なし。

00:26.000 --> 00:29.000

夜間勤務の交代確認。異常なし。

00:29.000 --> 00:33.000

武器の手入れおよび状態点検。確認完了。

00:33.000 --> 00:37.000

補給品の数量は……常に不足しているのが正常。

00:37.000 --> 00:42.000

女王様の朝食の有無を確認。確認完了。

00:42.000 --> 00:46.000

よし。問題ないな。ほかに報告事項はあるか？

00:46.000 --> 00:49.000

あの、ローラン隊長……！！

00:49.000 --> 00:52.000

どうした、ネッツ。

00:52.000 --> 00:56.000

その、昨夜のうちに失踪届が受理されました。

00:56.000 --> 01:02.000

失踪届？前後の状況もあわせて報告したまえ。

01:02.000 --> 01:08.000

失踪者の友人が届け出たもので、前後の状況は以下の通りです。

01:08.000 --> 01:14.000

毎朝エシュールのパン屋でパンを買っていた妖精が、三日前から姿を見せないそうです。

01:14.000 --> 01:20.000

それを不審に思った友人が、警備隊を訪ねてきました。以上！

01:20.000 --> 01:23.000

妖精がひとり、三日前から姿を見せない、か……。

01:23.000 --> 01:28.000

待て、昨日も失踪事件が受理されていなかったか？

01:28.000 --> 01:34.000

はい！昨日と今日に受理された件数は……合計五件です。

01:34.000 --> 01:40.000

五件か……無視できない数だな。

01:40.000 --> 01:47.000

以前にも、これに似た事件があったような気がするが……。

01:47.000 --> 01:51.000

そうだ！思い出した。これと似た事件が！

01:51.000 --> 01:54.000

あの時に受理された失踪件数も五件！

01:54.000 --> 02:03.000

失踪届を受けて出勤したら、失踪したと思っていた連中が全員コマに夢中になって、ハウスで昼夜問わずコマを回していたのだ。

02:03.000 --> 02:08.000

あっ！そんなことがありましたね！私も覚えています！！

02:08.000 --> 02:13.000

出勤準備だ！コマハウスへ向かう。

02:13.000 --> 02:15.000

はい！！

02:17.000 --> 02:21.000

うわあっ！いい狙いだったぞ！

02:21.000 --> 02:26.000

私のコマを弾き返そうとして、改造で小細工したんだな？

02:26.000 --> 02:35.000

だが、ここは私の縄張りだ。この区域で私に勝つには、まだまだ早い！

02:35.000 --> 02:39.000

さあ、賭けに負けたんだから、パンを置いてとっとと消え——

02:39.000 --> 02:42.000

ガシャーん！

02:42.000 --> 02:46.000

コマは全部押収しろ！ 全員捕まえろ！！

02:46.000 --> 02:50.000

な、何だ？！ 警備隊がいきなり？！

02:50.000 --> 02:56.000

隊長！ 包囲しました。ご命令を！

02:56.000 --> 02:59.000

お前、今何をしている……？

02:59.000 --> 03:04.000

ふう……この手も久しぶりだな。

03:06.000 --> 03:08.000

ドカツ、バキッ！！

03:08.000 --> 03:12.000

うわああっ！痛い！痛いって！いきなり何なんだよ？！

03:12.000 --> 03:17.000

いや！何で問答無用で殴るんだよ！

03:17.000 --> 03:20.000

理由くらい！理由くらい知ってから殴らせろ！！

03:20.000 --> 03:27.000

全員、戦術教範通りにやれ！三人一組、前後左右、百二十度で取り囲み、無差別に尋問しろ！

03:27.000 --> 03:33.000

相手は三十分以内に、我々の望む答えを吐くはずだ。

03:33.000 --> 03:38.000

各自、担当した相手を徹底的に問い詰める！！

03:38.000 --> 03:40.000

ドタバタ！ガタンゴトン！

03:40.000 --> 03:43.000

だ、だから私が何をしたっていうんだよ？！

03:43.000 --> 03:48.000

質問するのは私だ！聞かれる前に答えるな！

03:48.000 --> 03:53.000

ぐあっ、うわあっ！や、やめろ！もうやめてくれ！！

03:53.000 --> 03:57.000

失踪した妖精たちはどこだ？

03:57.000 --> 04:00.000

失踪？ 何の失踪だよ！！

04:00.000 --> 04:05.000

知らない？ 知らないなら、分かるまで耐えろ！

04:05.000 --> 04:10.000

うわああっ！ 知らないって！ 本当に知らないんだああー！！

04:10.000 --> 04:14.000

十五分後――

04:14.000 --> 04:19.000

失踪した妖精はどこに隠した？ すべて吐け！

04:19.000 --> 04:24.000

わ、私が誘拐したみたいです！ 私も知らないうちに誘拐していたみたいです！！

04:24.000 --> 04:32.000

誘拐したみたいだと？ まだまともに答えられないようだな。続ける！

04:32.000 --> 04:34.000

ドタン！！

04:34.000 --> 04:41.000

うわあっ！ すみません！ 何を間違えたのかは分かりませんが！！ すみませえん！！

04:43.000 --> 04:45.000

三十分後――

04:45.000 --> 04:49.000

ふう。三十分も問い詰めたのに、答えられないか。

04:49.000 --> 04:55.000

全隊員！ やめ！ カンタは知らないことが確定した。

04:55.000 --> 05:00.000

だから言っただろ！ 本当に知らないって！

05:00.000 --> 05:04.000

はっ！ 口の利き方が少し短いな？

05:04.000 --> 05:09.000

私が申しあげましたよね。本当に知らないんです。

05:09.000 --> 05:14.000

よし、お前の潔白は証明された。行っていい。

05:14.000 --> 05:18.000

コマは……返してください……。

05:18.000 --> 05:23.000

いや、押収だ。賭博場の証拠品はすべて押収する。

05:23.000 --> 05:28.000

うわああん、ひどいですー！！

05:28.000 --> 05:35.000

本来は実績がない時に踏み込むため、残しておいた場所なのだが……惜しいことをしたな。

05:35.000 --> 05:38.000

ふむ、これからどうする……？

05:38.000 --> 05:46.000

その……隊長。普通に、失踪した妖精たちの家を訪ねるほうが早いのでは？

05:46.000 --> 05:52.000

こほん、そうだな。そうしよう。そうするつもりだった。

05:52.000 --> 05:59.000

全部隊、集合！ これより分隊ごとに、失踪した妖精たちの家を訪問する。

05:59.000 --> 06:03.000

はい！ ただちに準備します！

06:03.000 --> 06:07.000

タタタッ！

06:14.000 --> 06:15.000

バタン！

06:15.000 --> 06:20.000

警備隊長ローランだ。失踪届の調査のため訪問した。

06:20.000 --> 06:23.000

家主？ 家主はいないか？

06:23.000 --> 06:28.000

隊長！ 失踪した妖精を発見しました！

06:28.000 --> 06:30.000

ん？

06:30.000 --> 06:33.000

その……眠っています。

06:33.000 --> 06:40.000

眠っているだと？ 何だ。本当に眠っているじゃないか。

06:40.000 --> 06:45.000

おい、起きろ！ 警備隊長ローランだ。

06:46.000 --> 06:48.000

ゆさゆさ――

06:48.000 --> 06:52.000

……

06:52.000 --> 06:54.000

ゴツン！

06:54.000 --> 06:57.000

げんこつを食らわせても起きないのか？

06:57.000 --> 07:02.000

……何かおかしいな……。

07:02.000 --> 07:04.000

.....

07:04.000 --> 07:08.000

キャスター。眠っている妖精を王宮の地下室へ運べ！

07:08.000 --> 07:10.000

はい！

07:10.000 --> 07:14.000

残りは次の場所へ移動する。

07:18.000 --> 07:19.000

バタン！

07:19.000 --> 07:23.000

隊長、あちらにも失踪した妖精がいます！

07:23.000 --> 07:27.000

今回も眠っていい……？

07:27.000 --> 07:31.000

おい、君、大丈夫か？

07:31.000 --> 07:32.000

ゆさゆさ――

07:32.000 --> 07:35.000

今回も意識がありません。

07:35.000 --> 07:39.000

ふむ……そのようだな。

07:39.000 --> 07:41.000

……

07:41.000 --> 07:46.000

失踪した妖精が全員、自分の家で眠っていたとは……。

07:46.000 --> 07:52.000

どれだけ揺すっても目を覚まさず、意識も、身じろぎもない？

07:52.000 --> 07:57.000

……いったい何が起きている……？

07:57.000 --> 08:02.000

全隊員！ 眠っている妖精たちを全員、王宮へ運ぶ！

08:02.000 --> 08:06.000

そして今回の事件については、全員口外しないように！

08:06.000 --> 08:11.000

噂にでもなった日には、王国全体に大きな混乱が訪れるだろう。

08:11.000 --> 08:14.000

はい！！

08:14.000 --> 08:18.000

……今回の事件は、教主様と相談してみる必要があるようだ……。

CHAPTER
4

第4章

眠りの原因調査

教主 / 00:07.000 --> 00:09.000

モナティウムから来た公文は、昨日全部処理したし……

教主 / 00:09.000 --> 00:12.000

近いうちにまた旅に出られそうだ。

教主 / 00:12.000 --> 00:14.000

午前の宴会場の業務は……まあまあ完了。

教主 / 00:14.000 --> 00:16.000

うーん。ばたばたしていて、まだ昼食も食べてないな……。

教主 / 00:16.000 --> 00:20.000

リコッタに昼食でも作ってもらおうかな。

ローラン / 00:21.000 --> 00:25.000

教主様、こちらにいらしたのですね。

教主 / 00:25.000 --> 00:27.000

ローラン？

ローラン / 00:28.000 --> 00:31.000

折り入ってお話ししたいことがあります。

ローラン / 00:31.000 --> 00:35.000

これをどうお伝えすればよいのか……。

教主 / 00:35.000 --> 00:38.000

何があったの？ 顔色がよくないけど？

ローラン / 00:38.000 --> 00:43.000

それが……昨日と今日で受理された失踪事件が五件あります。

ローラン / 00:43.000 --> 00:50.000

そこで警備隊が別途調査を行ったところ、
失踪したとされていた妖精たちは全員、眠っていました。

教主 / 00:51.000 --> 00:53.000

妖精たちが全員眠っていたって？

ローラン / 00:53.000 --> 00:58.000

はい！身じろぎもせず、いくら起こしても目を覚ましませんでした。

ローラン / 00:58.000 --> 01:02.000

それどころか、げんこつを食らわせても起きませんでした。

教主 / 01:02.000 --> 01:04.000

妖精たちが眠った理由は？

ローラン / 01:04.000 --> 01:07.000

正確に判明したことはありませんが……。

ローラン / 01:08.000 --> 01:11.000

事件の始まりは、三、四日前と推測されます。

ローラン / 01:11.000 --> 01:20.000

昔から妖精たちが長い眠りにつくことは時々ありましたが、
数日の間に五人も眠るとするのは珍しいことです。

ローラン / 01:21.000 --> 01:26.000

妖精たちは長く眠る時期になると、
一般的には本人もそれを自覚しています。

ローラン / 01:27.000 --> 01:34.000

周囲にも自分が眠ることを伝えているはずですし、
このような形で失踪届が出ることもなかったはずです。

教主 / 01:34.000 --> 01:36.000

……眠った妖精たちはどうしたの？

ローラン / 01:36.000 --> 01:40.000

方針に従い、教団の地下へ移してあります。

教主 / 01:40.000 --> 01:42.000

そうなんだ……警備隊以外に、この件を知っている妖精は？

ローラン / 01:42.000 --> 01:47.000

まだいません。ひとまず口止めをしている状態です。

教主 / 01:48.000 --> 01:50.000

分かった。知らせてくれてありがとう。

教主 / 01:50.000 --> 01:51.000

私も関連して調べてみて、情報を共有するよ。

ローラン / 01:51.000 --> 01:54.000

はい、ありがとうございます。教主様。

教主 / 01:54.000 --> 01:57.000

急に妖精たちが眠った、か……。

教主 / 01:58.000 --> 02:00.000

こういうことが分かりそうな子といえば、やっぱり……。

ヤドリギ / 02:03.000 --> 02:07.000

妖精たちが五人も眠ったって？！

教主 / 02:07.000 --> 02:09.000

うん。でも、正確な理由が分からないんだ。

教主 / 02:10.000 --> 02:12.000

ブルミが眠った時みたいに、世界樹の影響なのかな？

教主 / 02:12.000 --> 02:16.000

それとも、もしかして君がエルフィンに力を分け与えたせいなのか？

ヤドリギ / 02:16.000 --> 02:20.000

え？ ええっと……それは……

ヤドリギ / 02:20.000 --> 02:25.000

私にもよく分からないかな～？

教主 / 02:26.000 --> 02:28.000

よく分からないんだね？

ヤドリギ / 02:28.000 --> 02:32.000

うーん、私もこういう場合は初めてだから……。

ヤドリギ / 02:32.000 --> 02:38.000

もしかして、眠ったって妖精たちを見せてもらえるかな？

教主 / 02:38.000 --> 02:40.000

見れば分かるの？

ヤドリギ / 02:40.000 --> 02:45.000

そういうわけじゃないけど……見て損はないんじゃないかな……？

教主 / 02:46.000 --> 02:50.000

分かった。一緒に地下室へ行ってみよう。
私も妖精たちの状態を一度見ておきたい。

教主 / 02:51.000 --> 02:53.000

どう？ 何か分かりそう？

ヤドリギ / 02:54.000 --> 02:58.000

うん、ひとまず確かに眠ってる……。

教主 / 02:59.000 --> 03:00.000

それはエルフィンが見ても分かるけど？

ヤドリギ / 03:00.000 --> 03:09.000

あ、はは……た、確かに……それは見れば分かることだよな……。

ヤドリギ / 03:09.000 --> 03:14.000

でも、エルフィンと比べるなんて……ひどいよ……。

ヤドリギ / 03:14.000 --> 03:19.000

教主は何か分かったことないの？

教主 / 03:19.000 --> 03:20.000

何か少し変だ。

教主 / 03:20.000 --> 03:24.000

身じろぎもせず眠っていることも、起こしても目覚めないことも、顔色が青白いことも……

教主 / 03:24.000 --> 03:25.000

これは眠っているというより、まるで……。

ヤドリギ / 03:25.000 --> 03:27.000

どうしたの？

教主 / 03:27.000 --> 03:28.000

え？ いや。何でもない……。

教主 / 03:28.000 --> 03:30.000

妖精たちを起こす方法はないかな？

ヤドリギ / 03:30.000 --> 03:34.000

もっと強く揺さぶってみる？ そうしたら起きるかも？

ヤドリギ / 03:35.000 --> 03:39.000

それとも、げんこつでも食らわせてみるのはどうかな？

教主 / 03:40.000 --> 03:41.000

別の方法を探そう。教団の時みたいに起こすことはできる？

ヤドリギ / 03:42.000 --> 03:48.000

うーん、できるかもしれない。世界樹の力を使えば……。

ヤドリギ / 03:48.000 --> 03:55.000

溜めておいた力を少し使うことにはなるけど……教主が起こしたいなら……。

教主 / 03:56.000 --> 03:58.000

いや、これは最後の手段として残しておこう。

教主 / 03:58.000 --> 04:00.000

これから妖精たちがもっと眠るかもしれないだろ。
そのたびに全員を君の力で起こすのは難しそうだ。

ヤドリギ / 04:01.000 --> 04:04.000

そ、そうだよな？

ヤドリギ / 04:04.000 --> 04:09.000

うう、私も何か役に立ちたいんだけど……。

教主 / 04:09.000 --> 04:12.000

眠りにつく現象そのものを止めることはできないんだよね？

ヤドリギ / 04:12.000 --> 04:22.000

うん、私には難しいかな～
一人や二人じゃなくて、同時多発的に眠っているなら……。

教主 / 04:22.000 --> 04:24.000

同時多発的に眠る、か……これはまるで……。

教主 / 04:24.000 --> 04:25.000

伝染病みたいじゃない？

ヤドリギ / 04:26.000 --> 04:34.000

伝染病？ で、でもエアリアスなら、みんなすぐに治るんじゃないかな……？

教主 / 04:34.000 --> 04:36.000

もし、世界を維持する力が弱まっているとしたら？

教主 / 04:36.000 --> 04:38.000

スマホのバッテリーが残り少なくて、省電力モードをオンにする時みたいに。

教主 / 04:38.000 --> 04:40.000

そういう意味で世界が省電力モードに入って、維持に不要な機能を一つずつ切っているのだとしたら？

ヤドリギ / 04:40.000 --> 04:44.000

妖精たちが眠る理由が、それだっていうの？

教主 / 04:45.000 --> 04:47.000

確かなことじゃない。あくまで私の推測だから。

ヤドリギ / 04:47.000 --> 04:51.000

もし教主の言うことが本当なら……。

ヤドリギ / 04:51.000 --> 04:58.000

これから、もっとたくさんの妖精たちが眠ってしまうかもしれないね？

ヤドリギ / 04:58.000 --> 05:03.000

た、大変だね？ これ、どうしよう？

ヤドリギ / 05:03.000 --> 05:09.000

一夜にして何十人もの妖精が倒れるかもしれないし……。

教主 / 05:09.000 --> 05:11.000

もしかすると、そうなるかもしれない。

教主 / 05:11.000 --> 05:12.000

……妖精たちだけなのかな？ 他の種族は大丈夫なんだろうか？

ヤドリギ / 05:12.000 --> 05:20.000

正確には分からない。でも、私の考えでは……。

ヤドリギ / 05:20.000 --> 05:25.000

エリアスのみんなが、今回の現象と無関係ではいられない気がする。

CHAPTER
5

第5章

司祭長ネルの昼休み

00:06.500 --> 00:09.500

おはようございます、司祭長様。

00:09.500 --> 00:14.500

ヴィヴィさん、今日は少し早く来られましたね。

00:14.500 --> 00:18.500

なんとなく……早く目が覚めましたの。

00:18.500 --> 00:26.000

あの、司祭長様。以前お願いしたこと……
覚えていらっしゃるでしょうか？

00:26.000 --> 00:28.500

もちろんです。覚えていますよ。

00:28.500 --> 00:32.500

ヴィヴィさんが奉仕活動をしている間、銀石公を
見てほしいということですよ？

00:32.500 --> 00:36.000

約束通り、お世話いたします。

00:36.000 --> 00:39.500

ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

00:39.500 --> 00:44.000

これ、女王様が幼かった頃を思い出しますね。

00:44.000 --> 00:48.500

その……今日はどこを掃除すればよろしいですか？

00:48.500 --> 00:52.500

以前と同じように、花壇をお願いします。

00:52.500 --> 00:57.000

お任せくださいませ。
掃除には自信がありますわ。

01:00.000 --> 01:08.500

ヴィヴィさんったら、今日はやけにやる気に満ちていますね。
私もそろそろ書類仕事を始めましょうか。

01:08.500 --> 01:13.500

銀石公、退屈でも少し我慢してくださいね。

01:17.000 --> 01:20.500

ん？ 今、動きましたか……？

01:20.500 --> 01:24.000

あの、銀石公？

01:24.000 --> 01:29.500

うーん、気のせいでしょうか？

01:29.500 --> 01:36.500

まあ、卵が動くはずなんて……
仕事で疲れているのかな……。

01:42.000 --> 01:45.500

これ、ちょっと面倒なことになったわね？

01:45.500 --> 01:49.000

どうして？ 何があったんだ？

01:49.000 --> 01:53.500

ヴィヴィが司祭長に卵を預けて、
奉仕活動に行ったのよ。

01:53.500 --> 01:59.000

本来の計画は、ヴィヴィが席を外した時に、
卵だけをさっと盗むことだったのに！

01:59.000 --> 02:04.500

今日は巡回してる警備兵も少ないから、
大丈夫だと思ってたのに……。

02:04.500 --> 02:10.000

むしろ好都合なんじゃないか？
司祭長だけをどうにかすればいいんだろ。

02:10.000 --> 02:16.500

ねえ！ あんた司祭長を甘く見てない？ 隙だらけに見えても、
それなりに几帳面なのよ。

02:16.500 --> 02:26.500

はあ、だからあんたは二番手なのよ。
頭を使いなさい、頭を。頭は飾りなの？

02:26.500 --> 02:31.500

何だと？ 最強とか言いながら、やってることはただの小悪党のお前が言えたことか？

02:31.500 --> 02:35.500

そんなに偉そうに言うなら、解決策でも言ってみろ！

02:35.500 --> 02:41.500

解決策？ 当然あるわよ～。とっておきの方法がね。

02:41.500 --> 02:45.500

何だ？ どんな方法だ？

02:45.500 --> 02:50.500

特別に教えてあげるから、よく聞きなさい。

02:53.000 --> 02:58.500

お？ いいじゃないか。お前、少しは頭が回るな？

02:58.500 --> 03:07.000

あははっ！ 私が賢いじゃなくて、あんたが間抜けなだけよ！

03:07.000 --> 03:10.000

おい！ 言いたい放題だな？！

03:10.000 --> 03:14.500

午前の仕事はだいたい終わりましたし……。

03:14.500 --> 03:19.500

そろそろ小腹が空きましたね。何か食べてからにしましょうか。

03:19.500 --> 03:25.000

この前買っておいたマシュマロマカロンがあるので、それでも少し……。

03:25.000 --> 03:30.000

ええと……このあたりに隠しておいたはずですが……。

03:33.500 --> 03:38.500

あはは……ちょうどマカロンを切らしていたようですね。

03:38.500 --> 03:43.500

銀石公、これからお昼休みなので少し休めますね。

03:43.500 --> 03:47.000

何かおすすめのお屋はありますか？

03:47.000 --> 03:54.000

まあ、銀石公もマカロンが食べたいのですか？
なんてことでしょう、気が合いましたね。

03:54.000 --> 03:58.000

この機会に、エシュールのパン屋でマカロンを
手に入れてみましょう。

04:00.500 --> 04:05.500

どうですか？ 銀石公。本当に平和な場所でしょう？

04:05.500 --> 04:10.500

エルフィンランドは、エーリアスで最も由緒ある王国なのですよ。

04:10.500 --> 04:19.000

世界樹に選ばれた、立派で聡明な私たちのエルフィン女王様が治めている場所だからそうなのです。

04:19.000 --> 04:26.000

エルフィンランドの民は皆、そんな女王様を尊敬し、心から従っているのですよ～。

04:26.000 --> 04:31.000

最近も、私たちの女王様が見事な裁きを……。

04:33.500 --> 04:38.000

少し待ってくださいね、銀石公。電話に出ます。

04:38.000 --> 04:45.000

はい、司祭長ネルです。どちら様ですか？知らない番号ですが……。

04:45.000 --> 04:49.000

おい、司祭長！ 大変だ！ 大変！

04:49.000 --> 04:52.500

え？ いったいどなたですか？

04:52.500 --> 05:01.000

うーん、何だか怪しいですね？ 迷惑電話でしょうか？
また女王様が変な保険に入ったわけではないですよ。

05:01.000 --> 05:07.500

今そんなことが重要なの？
エルフィン女王が倒れたって言ってるのよ！

05:07.500 --> 05:11.000

じょ、女王様が?! どうしてですか？

05:11.000 --> 05:15.500

私と鬼ごっこしてたら、街灯に頭を
ぶつけたの!!

05:15.500 --> 05:21.000

街灯に頭を? 本当に大丈夫なんですか?
どこですか?

05:21.000 --> 05:28.000

裏路地! 裏路地よ! 早く来て!
今、泡を吹いて倒れてるの!

05:28.000 --> 05:33.000

ど、どうしましょう! 私たちの女王様!!
今そちらへ向かいます!

05:37.000 --> 05:42.500

はあっ、はあっ……! 女王様! 女王さまあ!!

05:42.500 --> 05:46.000

どちらにいらっしゃるのですか? 女王様ー!!

05:46.000 --> 05:51.000

あの! 到着しました! 女王様はどちらに
いらっしゃるんですか?

05:51.000 --> 05:56.500

すぐ前よ！もうほとんど着いてる！こっちへまっすぐ走ってきて！

05:56.500 --> 06:00.000

分かりました。すぐ行きます！

06:00.000 --> 06:05.000

ははっ、よくやったわ、シーザー。

06:05.000 --> 06:11.000

ん？あの、着いたんですけど、女王様はどこに……。

06:15.500 --> 06:19.500

そこでぐっすり眠っている。

06:19.500 --> 06:26.500

ほお？あの乱暴な司祭長が一発で倒れるとはね。

06:26.500 --> 06:31.500

フロストノヴァの麻酔薬、性能最高じゃない？

06:31.500 --> 06:40.500

当然でしょ！フロストノヴァの技術力を何だと思ってるの。この麻酔薬一滴あれば、モグムだって眠らせられるわ。

06:40.500 --> 06:44.500

そんな麻酔薬を司祭長に使うとは……。

06:44.500 --> 06:52.500

容赦がないな！さすが、悪辣なエルフらしい！
あははっ！

06:52.500 --> 06:58.500

ははっ！このくらいやってこそ、大企業のCEOに
なれるのよ。

06:58.500 --> 07:01.500

さあ、シーザー。卵を回収して。

07:01.500 --> 07:06.000

まだやるべきことが山ほど残っているんだから。

CHAPTER
6

第6章

クロエとセバスチャンの追跡

00:08.000 --> 00:14.000

あの……
クロエ……。

00:14.000 --> 00:20.000

ん？ どうしたの、セバスチャン。
ちょっと待って。これだけ仕上げるから。

00:20.000 --> 00:24.000

一番大事な作業なんだから。

00:24.000 --> 00:29.000

まったく、妖精たちも気が強いんだから。

00:29.000 --> 00:36.000

私が銀石ちゃんにプレゼントした服を破るなんて。
考えるほど腹が立つわ。

00:36.000 --> 00:42.000

はあ、それにヴィヴィももどかしいのよね。

00:42.000 --> 00:48.000

あんなにいじめられてるのに、
どうしてわざわざ散歩に出るのよ。

00:48.000 --> 00:55.000

大人しく謹慎しても足りないくらいなのに、ベビーカーまで押して出かけるから、
余計に標的にされるんでしょ。

00:55.000 --> 00:59.000

そのせいで銀石ちゃんまで危なくなるじゃない。

00:59.000 --> 01:03.000

本当に、バカみたいなんだから。

01:06.000 --> 01:11.000

できた！新しく作ったマフラーもいい感じね。

01:11.000 --> 01:16.000

よし、銀石ちゃんに送るプレゼントも全部できたし。

01:16.000 --> 01:21.000

このまま箱ごと、こっそり扉の前に置いてこよう。

01:21.000 --> 01:25.000

……お姉ちゃんたちと仲直りする気はないのかって？

01:25.000 --> 01:28.000

……よく分からない……。

01:28.000 --> 01:33.000

分かってる、分かってるよ。私が悪いってことくらい。

01:33.000 --> 01:39.000

でも、どこからどう謝ればいいのか
分からないのよ。

01:39.000 --> 01:45.000

あの日、私が失敗したことも分かってるし、
シオンお姉ちゃんが怒るのも当然だって分かってる！

01:45.000 --> 01:49.000

私だって罪悪感はあるんだから。

01:49.000 --> 01:54.000

でも……シオンお姉ちゃんもひどくない？

01:54.000 --> 01:58.000

どうしてあの日から、電話一本もないわけ？

01:58.000 --> 02:01.000

まさか一生、縁を切って生きるつもり？

02:01.000 --> 02:07.000

はあ……私だって仲直りしたいのよ。

02:07.000 --> 02:13.000

先に歩み寄れって？ それは嫌。プライドが傷つく。

02:13.000 --> 02:17.000

私だって、自分が意地を張ってるのは分かってる。

02:17.000 --> 02:24.000

でも、私は元々こうだったの。
荒野を出てからずっと！ あなたも知ってるでしょ。

02:24.000 --> 02:29.000

荒野で目を覚ました時は……

02:29.000 --> 02:35.000

私だって怖かった。私だって寂しかったのよ。

02:35.000 --> 02:44.000

お姉ちゃんたちがどこにいるか分からないし、妹たちがいつ目覚めるかも分からないし、
時間が経つほどお腹は空くし。

02:44.000 --> 02:49.000

だから私、あなたに妹たちを任せたくない……。

02:49.000 --> 02:53.000

なのに、よりによってあなたが私をこっそり追ってきて。

02:53.000 --> 02:58.000

ううん、この話はやめよう。

02:58.000 --> 03:04.000

謝らないで……。
時間が経てば、全部よくなるはずだから。

03:04.000 --> 03:08.000

仲直りは、その時になってからすればいい。

03:08.000 --> 03:13.000

そう……それでいいのよ。

03:13.000 --> 03:17.000

とりあえず外に出て、プレゼントを届けてこよう。

03:19.000 --> 03:23.000

あれ？
司祭長？

03:23.000 --> 03:27.000

ちょっと待って。あれ、銀石ちゃんじゃない？

03:27.000 --> 03:31.000

司祭長がどうして銀石ちゃんを連れてるの？

03:31.000 --> 03:38.000

あれ？電話中じゃない。何だか慌ててるみたいだけど？

03:38.000 --> 03:41.000

裏路地のどこですか？女王様はご無事ですよね？

03:41.000 --> 03:47.000

意識がないんですか？どうしましょう！私たちの女王様！

03:47.000 --> 03:51.000

何？女王様が倒れたの？

03:51.000 --> 03:55.000

私たちも行ってみよう、セバスチャン。

04:00.000 --> 04:04.000

司祭長、歩くの本当に速いわね。

04:04.000 --> 04:10.000

はあ～、はあ～、いったいどこへ行ったの？

04:10.000 --> 04:16.000

ほお？あの乱暴な司祭長が一発で倒れるとはね。

04:16.000 --> 04:22.000

フロストノヴァの麻酔薬、性能最高じゃない？

04:22.000 --> 04:28.000

何よ。あいつら、司祭長を倒したの？

04:28.000 --> 04:31.000

司祭長が探してた女王様はどこへ行ったわけ？

04:31.000 --> 04:35.000

さあ、シーザー。卵を回収して。

04:35.000 --> 04:39.000

まだやるべきことが山ほど残っているんだから。

04:39.000 --> 04:44.000

あれ？ あいつらが回収しようとしてるのって……銀石ちゃんじゃない？

04:44.000 --> 04:49.000

まさか……銀石ちゃんを盗もうとしてるの？

04:49.000 --> 04:54.000

ああ、もう！ ヴィヴィ、何やってるのよ？

04:54.000 --> 05:00.000

全部積んだなら、すぐ乗って。
ここに長くいても、いいことないでしょ。

05:00.000 --> 05:04.000

ああ～、そうだな。司祭長が起きる前にずらかろう。

05:04.000 --> 05:11.000

ヴィヴィのやつ、まさか奉仕活動をするからって
銀石ちゃんを司祭長に預けたの？

05:11.000 --> 05:17.000

いっ！ 本当に……これじゃ私がまた出るしかないじゃない？

05:17.000 --> 05:21.000

行くよ！ セバスチャン！

05:25.000 --> 05:27.000

うわああっ！ 何だ、これは？！

05:27.000 --> 05:31.000

きゅ、急に飛び出してきた私の車を——！！

05:31.000 --> 05:36.000

おい、あんたたち。銀石ちゃんを持って何してるの？

05:36.000 --> 05:41.000

お、お前は！ 仕立て屋の妖精？！

05:44.000 --> 05:48.000

何だ？ 知ってるやつなのか？

05:48.000 --> 05:53.000

当然知ってるわ。思ったより気の強い妖精よ。

05:53.000 --> 05:58.000

あ？ あんた、言いたい放題ね？

05:58.000 --> 06:03.000

ひゃっ！シーザー、プランBよ！プランB！！

06:03.000 --> 06:09.000

プランB？ああ、フロストノヴァへ撤退？
オーケー！

06:09.000 --> 06:14.000

このバカ！それを言ったらどうするのよ！

06:14.000 --> 06:19.000

撤退？私が大人しく逃がすと思う？

06:19.000 --> 06:23.000

シーザー、止めて！何とかして止めなさいよ！

06:23.000 --> 06:27.000

あんな無茶苦茶なやつを止めろって？

06:27.000 --> 06:32.000

最強のヴィランなんでしょ！あんなやつ一人も止められないわけ？

06:38.000 --> 06:42.000

へえ？止める気？

06:42.000 --> 06:48.000

あははっ！止めたんじゃない、受け流したんだ！

06:48.000 --> 06:53.000

よ、よくやったわ！シーザー！卵は私が持っていくから、適当に足止めして！

06:53.000 --> 06:57.000

あ？ あんた、そこで止まりなさいよ。

06:57.000 --> 07:02.000

どこへ行くつもりだ？ お前の相手は、この最強の――

07:02.000 --> 07:07.000

そこをどかないの？！

07:07.000 --> 07:13.000

おい！ 話してる途中で攻撃なんて！ 反則だぞ！ 反則！！

07:13.000 --> 07:17.000

邪魔しないで、どいて！！

07:17.000 --> 07:24.000

あははっ！ するなと言われると、もっとしたくなるものだろ～。

07:24.000 --> 07:29.000

あいつを捕まえたいなら、まず私を倒すことだな！

07:33.000 --> 07:37.000

あ？ これを全部防ぐの？

07:37.000 --> 07:43.000

はあ、本当に！ 馬鹿みたいに力だけはやたら強いんだから！

07:47.000 --> 07:54.000

はあっ、はあっ！ いいだろう、特別に私の敵として認めてやる。

07:54.000 --> 08:00.000

お前、仕立て屋の平凡な妖精にしてはなかなかやる。

08:00.000 --> 08:06.000

何よ？ 私とセバスチャンの一撃を受けても立ち上がったの？

08:06.000 --> 08:12.000

だが、お前の攻撃は単調で単純すぎる。

08:12.000 --> 08:15.000

それに、それは人形だろ？

08:15.000 --> 08:20.000

人形では私のハサミには勝てない！

08:20.000 --> 08:23.000

勝てない？

08:23.000 --> 08:29.000

そう～。私の能力のほうが相性的に有利だ、ということだ！

08:29.000 --> 08:33.000

はっ、話にもならないこと言ってるわね。

08:33.000 --> 08:39.000

あっ？ もうあそこまで逃げてるじゃない！ このままだと見失う！

08:39.000 --> 08:43.000

セバスチャン、今回は畳みかけて終わらせるよ。

08:47.000 --> 08:52.000

う、うわああっ！！卑怯だぞ！人形との挟み撃ちなんて！

08:53.000 --> 08:58.000

いける！効いてる！相手はドジョウみたいに避けてばかり！

08:58.000 --> 09:02.000

このまま押し切れればいい！一発でも当てれば……

09:02.000 --> 09:08.000

私の勝ちよ！！

09:08.000 --> 09:12.000

よし！届く！このまま押さえ込んで……！！

09:12.000 --> 09:18.000

あははっ！引っかかったな！

09:20.000 --> 09:22.000

……！！

09:22.000 --> 09:25.000

な、何よ……これ？

09:25.000 --> 09:31.000

あり得ない。セバスチャンが切られるなんて？

09:31.000 --> 09:38.000

この私の必殺技！枝切りだ！あははっ！

09:40.000 --> 09:44.000

セバスチャン！！

09:45.000 --> 09:48.000

セバスチャアアン！！！！

CHAPTER
7

第7章

セバスチャン、敗北のあと

00:04.000 --> 00:08.000

セバスチャアアン!!!

00:08.000 --> 00:18.000

はあ、はあ……おい……今回の勝負は私の勝ちだ。

00:18.000 --> 00:23.000

言っただろう。ハサミは人形に勝つとな。

00:23.000 --> 00:26.000

……!!

00:26.000 --> 00:30.000

もう退け。お前はすでに敗北した。

00:30.000 --> 00:38.000

行って、お前の大事な人形でも拾ってこい。修理くらいはしてやらなきゃならないだろ。

00:38.000 --> 00:44.000

あんた! あんた本当に!!

00:45.000 --> 00:50.000

はあ? たかがこんな挑発に乗るのか?

00:50.000 --> 00:56.000

最高のコンディションで挑んでも勝てるかどうか分からないのに、
そんなふうは無策で突っ込んでくるのか？

00:56.000 --> 01:01.000

ちっ、どうしてそこまで情けないんだ。

01:01.000 --> 01:07.000

今日はここまでだ。今のお前は、これ以上先には
進めない。

01:07.000 --> 01:10.000

今、言いたいことはそれだけ？

01:12.000 --> 01:19.000

しっかりしろ、この馬鹿。一度負けたからといって、
終わったわけじゃない。

01:19.000 --> 01:25.000

本当の敗北は倒れた時ではなく、
諦めた時だ。

01:25.000 --> 01:28.000

倒れたまま終わらせるな。

01:28.000 --> 01:33.000

一人で背負いきれないなら、仲間を頼れ。

01:33.000 --> 01:40.000

自分の限界を認めて、仲間に背中を
預けろ。それも実力だ。

01:40.000 --> 01:43.000

……。

01:43.000 --> 01:48.000

こいつ、自分で切っておいて、何で説教なんか始めてるのよ？

01:48.000 --> 01:51.000

もう一度立ち上がれ。

01:51.000 --> 01:58.000

そして次は、お前のすべてを懸けてもう一度挑んでこい。

01:59.000 --> 02:06.000

あ？ 本当に一発殴ってやりたいんだけど……。

02:06.000 --> 02:10.000

それじゃ、また次に会おう～！

02:10.000 --> 02:17.000

その時はどうか、この私を楽しませてくれよ！
あははっ！

02:21.000 --> 02:25.000

セバスチャン！！ 動ける？

02:25.000 --> 02:31.000

完全にボロボロじゃない！ 本当に大丈夫なの？

02:31.000 --> 02:35.000

大丈夫……だ……。

02:35.000 --> 02:40.000

何が大丈夫なのよ！！完全にめちゃくちゃじゃない！

02:40.000 --> 02:46.000

少しだけ待ってて！私がすぐ、すぐに直してあげる！

02:46.000 --> 02:50.000

裁縫キットが……あった。

02:50.000 --> 02:55.000

黙ってて！今はあなたのほうが大事
なんだから。

02:55.000 --> 03:00.000

ごめんって？違うよ、私こそ……ごめん。

03:00.000 --> 03:04.000

さっき怒ったことも……。

03:04.000 --> 03:09.000

私が……余計に荒野の時の話を持ち出した
みたい。

03:09.000 --> 03:18.000

セバスチャン。本当は……私も一日でも早く
あの洞窟から抜け出したかったの……。

03:18.000 --> 03:26.000

だから逃げたのよ。あなたにイードと末っ子を任せたって言い訳をして。

03:26.000 --> 03:33.000

無責任にあなたへ全部押しつけておいて……私は無責任なお姉ちゃんたちとは違うって……。

03:33.000 --> 03:42.000

私は堂々としてる。私は恥じることなんてない。そう信じたかったんだと思う。

03:42.000 --> 03:47.000

そうしないと、自分のほうがマシに見えたから。

03:47.000 --> 03:50.000

……。

03:50.000 --> 03:56.000

はあ……認めてみると、少しすっきりするね。

03:56.000 --> 04:00.000

もうほとんど終わったよ、セバスチャン。

04:00.000 --> 04:04.000

できることは全部やったけど……どう？

04:04.000 --> 04:08.000

動かしてみて。大丈夫？

04:08.000 --> 04:13.000

あ……大丈夫ならよかった。本当に。

04:13.000 --> 04:20.000

ありがとう……クロエ……。

04:20.000 --> 04:23.000

セバスチャン。こんなことしてる場合じゃない。

04:23.000 --> 04:26.000

早く、お姉ちゃんのところへ行って知らせなきゃ。

04:26.000 --> 04:31.000

ヴィヴィのところへ行くのかって？ うん、そうしないと。

04:31.000 --> 04:39.000

あっ！ 司祭長！ まず司祭長から起こそう！
それからお姉ちゃんのところへ行くの。

04:40.000 --> 04:46.000

おい、司祭長！ 今、寝てる場合じゃないでしょ！

04:48.000 --> 04:59.000

……。

04:59.000 --> 05:07.000

もどかしいな、本当に！ いい加減起きなさいよ！

05:08.000 --> 05:14.000

……すやすや……。

05:14.000 --> 05:18.000

いったいどれだけ深く眠ってるのよ？！

05:18.000 --> 05:24.000

ああ、どうしよう？ こんなことしてる時間もないのに……。

05:26.000 --> 05:30.000

止まれ！ 止まれ！ 動いたら撃つ！

05:30.000 --> 05:34.000

あ？ 警備隊？

05:34.000 --> 05:37.000

隊長。怪しい者を発見しました！

05:37.000 --> 05:44.000

キャスター、ネッツ！ 百二十度で包囲……ん？
……クロエ？

05:44.000 --> 05:51.000

クロエ、ここで何をしていた？ それに
司祭長はなぜ倒れているんだ？

05:51.000 --> 05:56.000

私がやったんじゃない！ アイシアに
やられたの！！

05:56.000 --> 06:01.000

アイシア？ エルフ都市のあの……会長のことか？

06:01.000 --> 06:05.000

そう！あのフロストノヴァの会長！

06:06.000 --> 06:09.000

エルフの会長が、なぜ司祭長を……？

06:09.000 --> 06:13.000

襲撃したの！卵を盗むために！

06:13.000 --> 06:19.000

卵？卵というと……ヴィヴィが連れていた、あの銀色の卵のことか？

06:19.000 --> 06:22.000

そう、その卵よ！

06:22.000 --> 06:27.000

クロエ、事件の目撃者として状況を具体的に説明しろ。

06:27.000 --> 06:31.000

誰が、いつ、どこで、何を、どうやって、なぜ！

06:31.000 --> 06:38.000

ああもう！いちいち説明してる時間はないの！あとで全部説明するから！

06:38.000 --> 06:45.000

今は一刻を争うの！このまま卵に何かあったらどうするつもり？

06:45.000 --> 06:48.000

……。

06:48.000 --> 06:55.000

はあ……分かった。普段のお前の評判を考えて、
ひとまず信じることにする。

06:55.000 --> 06:59.000

その代わり、あとできちんと説明してもらおうぞ。
分かったな？

06:59.000 --> 07:06.000

うん！ありがとう、警備隊長！司祭長を
お願い！

07:08.000 --> 07:12.000

おい、ネッツ！司祭長は大丈夫か？

07:12.000 --> 07:15.000

それが……眠っています……。

07:15.000 --> 07:20.000

眠っているだと？他の妖精たちと同じように？

07:20.000 --> 07:23.000

それはよく分かりません！

07:23.000 --> 07:27.000

どけ。私が確認する。

07:28.000 --> 07:37.000

……。

07:37.000 --> 07:41.000

先に眠っていた妖精たちと同じく、反応がないな。

07:41.000 --> 07:46.000

ネッツ！ 司祭長を運べ！ ただちに教団へ
戻る！

07:46.000 --> 07:48.000

はい！！

07:48.000 --> 07:55.000

エルフの会長は何を企んでいるんだ？
司祭長まで襲撃して、なぜ竜族の卵を？

07:55.000 --> 07:59.000

その過程で、よりによって司祭長が眠るとは……。

07:59.000 --> 08:08.000

何が何だか分からないな。この「連続ぐっすり
事件」の行方は、いったいどこへ向かうのだ？